

鳴門中学校 学校だより

浜風

令和5年12月5日



今年もあと少し！

12月に入り寒さも一段と増してきました。毎日が驚きの早さで過ぎていきます。3年生は学校生活も残りわずかとなりました。これから自分の進路決定に向けて、努力したり、考えたり、選んだり・・・様々なことが求められます。

12月の教育相談で、自分にあった進路をじっくり考えましょう。

そのために欠かせないのは学力UPです。3年生の学力の伸びが決まるのはこれから！年末年始、そして選抜試験までの努力でぐっと成績が変わってきます。全力集中！それ以外にありません。

1・2年生は、これからの学校生活を充実させるための活動が待っています。生徒会役員を決め、1年間の活動を振り返り、まとめる活動、そして新入生を迎える準備・・・中学3年間は何ものすごいスピードで過ぎていきます。自分のことを大切に、しっかり見つめ、しっかり考えていきましょう。

人権について考えよう！

11月・12月は、鳴門市人権教育推進月間です。鳴門中学校でも、この期間内に様々な取り組みを行いました。

11月6日には、鳴門中学校区人権フェスティバル（人権講演会）・人権座談会に参加いただきありがとうございました。

今年は、鳴門市人権教育研究大会が鳴門町内の各保・幼・小・中学校であり、市内の各関係者が集い研究大会を行いました。本校でも、さまざまな人権課題に取り組み、学習を深めることができました。

3年生は全クラスで全体学習を通して、人権学習を積み重ねてきました。2年生では、修学旅行での平和学習や江口久さん・徹子さんのお話を聞き、差別解消に向け自ら行動する意欲を高めるなどの学習に取り組みました。1年生は、高齢者体験や防災学習を通して、弱者の立場に立って今の自分に何ができるかを真剣に考えることができました。



人権フェスティバル
星野ルネさん講演

2年生は、修学旅行で広島を訪れ、原爆資料館で被爆者の方のお話を聞きました。



被爆者の方のご高齢でありながらも今も、「自分が伝えなくてはいけない」と考え、語り部を続けておられるそうです。

実際に活動をしたり、直接お話を聞いたりすることが、生徒にたくさんの学びや考えを生むことを改めて感じました。

世界の各地で紛争や戦争が行われている昨今において、改めて人の命の重み、人権の尊さを今一度、問い正して行かなければならないと強く思います。

生徒会もまとめの時期に！

生徒会活動が活発な学校は素晴らしい学校だと考えていますが、鳴門中学校の生徒会も主体的に自分たちで考え、積極的に動いています。

中間テスト後には、生徒会が主催・運営する校内球技大会が行われました。この活動を終わると、生徒会役員選挙が行われ、3年生から2年生へと役員が引き継がれます。

学校の現状から、課題をみつけ、解決したり楽しく充実した生活のためのアイデアを出したりする活動は、社会人に求められる力そのものと言えます。今後も活躍を期待したいと思います。